

◀ 体験記 ▶

「東南アジアひとり旅」

JXオーシャン株式会社 越前祥生

はじめまして。二等機関士の越前祥生と申します。この度「体験記」の執筆の機会をいただいたので前回の休暇に私が体験した「現代っ子の東南アジア旅」について書きたいと思います。

出発まで

毎回休暇中、時間を持て余した独身の私はこの時間を有効に使える何かをしたいとずっと考えていました。

そんな中「男たるもの海外にひとり旅を試みよう！」と思い立ったのです。しかし私の海外旅行経験は友人と行った旅行代理店手配のグアム3泊4日ツアーのみで全くの初心者でした。

『思い立ったらすぐ行動！』と見せかけて入念に下調べをする私は、まず世界一周やバックパッカーをしている人のブログを読み漁り、持ち物や便利グッズなどを勉強するところから始めました。ブログを読んでいると初心者は東南アジアが物価も安く行きやすいと書いていたのでシンガポール、タイ、カンボジアに行くことに決めました。何事も形から入る私はバックパックや小物類を購入し、さらに往路の航空券を購入して自らを海外ひとり旅に行かざるを得ない状況に追い込みました。

そして今回の旅のミッションを3つ、自身に課しました。

- ① ひとりで知らない世界を旅する。
- ② 初の陸路での国境越えをする。
- ③ 世界遺産のアンコールワットを見る。

いよいよ出発前夜…、常に予習を欠かさな

い私はエスニック料理屋でパクチーの味を体験したのです。

1 カ国目 シンガポール

シンガポールの空港に無事着いたのですが、まずどっちに行っても良いか全くわかりませんでした。しかしここはWi-Fiを繋いでネットを駆使することによって乗り切ることができました。

シンガポールは偶然友人が仕事で来ていたので到着日の夕飯を一緒に食べる約束をしていました。

空港で電車のICカードをクレジットカードで購入して電車で移動していたのですが、友人との合流前ふと我に帰ると、「あれ？そういえば現地の通貨持ってない…」という現実に気づきました。

その後連絡手段のない私は友人と今思えば奇跡的な合流を果たして夕飯を食べ、無事友人に両替してもらえたので助かりました。

シンガポールは大都会で治安も良いので無難な観光スポットを巡っただけでしたが新鮮で初ひとり旅にはとても観光しやすい街でした。

2 カ国目 タイ

タイでの宿はドミトリタイプの所を転々とする生活でした。最初の宿で出会った人たちと仲良くなり一緒に観光や買い物をしました。タイで観光地を周る際には交通手段を確保することが重要で、私たちはトゥクトゥク（三輪タクシーのようなもの）を半日チャー

ターして観光しました。

このトゥクトゥクのおっちゃん（運転手）は観光客（特に日本人）とわかると高めの値段をふっかけてくるので、いかにうまくおっちゃんと値段交渉するかがポイントになります。あまりにも値切りすぎると「こっちにも生活があるんや…」という悲しそうな顔をしてくるので心が痛みますが負けたらダメです。日本とは違った値段交渉も旅の醍醐味かもしれません。

タイで観光と買い物を楽しんだ後は、国境越えの準備です。カンボジアへはバスで行くことに決め、チケットをネットで取得しました（なんでもネットでできる時代です）。

そして当日はバスに乗って国境の町に到着したのですが、出国は周りと同じように進んで出国手続きをするだけの意外と簡単なものでした。パスポートに出国スタンプを押してもらい徒歩で国境を越えます…。

3 カ国目 カンボジア

国境を越えたら次はカンボジアの入国手続きです。これもまた流れに従ってビザを取得しスタンプを押してもらっただけでした（意外とあっさり通過）。

船乗りなので海路での国境越えを経験している私にとって、陸海空の国境越え制覇の瞬間でした。島国で生まれ育った私にとってやはり初めて陸路で自分の足で国境を越えた瞬間は今でも忘れられません（国境で無防備な私を襲ってきたスコールも…）。

カンボジア観光初日はアンコールワットを観光し自慢の一眼レフで良い写真をたくさん撮ったのでした。

次の日はカンボジアで知り合った日本人数人で車をチャーターしてプレアビヒアという絶景スポットに行くことになりました。



タイとカンボジアの国境

ガイドブックを持たずに旅していたので存在すら知らなかったのですが絶景と聞き、重たい一眼レフを首から下げて登山し、絶景ポイントに到着するとそこにはびっくりする光景が広がっていました…。

辺り一面、霧で覆われて何も見えません…。

前日行った人から感動したという話を聞いていたので一同ショックを隠しきれませんでした。また来たいと思える機会をもらえたと思っておきます。

帰国して

ひとりで新しいことにチャレンジし、ミッションコンプリートした私は日本に到着した

時には達成感があり、自分が大きく成長できた気がします。

振り返るとSIMフリーの携帯電話を持っていたので、現地でSIMを購入してからはどこでもネットを使える環境にあり、何事もネットで調べる『現代っ子』の私にとって携帯電話が今回の旅の最大の味方でした。

携帯電話とパスポートとクレジットカードがあればなんとかなる気がします。

一番辛かったことは今回の旅を振り返ろうとカメラのSDカードをパソコンに差した時にデータがすべて壊れていたことです…。

皆さんも、休暇中予定がまだない方や非日常なことをしてみたい方がいらっしゃいましたら、是非海外ひとり旅にでかけてみてはいかがでしょうか？

素敵な出会いと感動が待っているかもしれません。



● Videotel社 DVD、CD-ROM、VIDEOのレンタル・販売

● VIDEOTEL ON DEMANDのレンタル

● Videotel Computer-Based Assessment & Training Training Course:

ECDIS / Environmental Officer / ISO 14001

TMSA : Incident Investigation / Safety Officer

● 海事関係BOOKの販売 : IMO / WITHERBY / NAUTICAL INSTITUTE

● DVD、VIDEOの映像制作

● BOOKとパンフレット等の制作・デザイン

Videotel社 日本総代理店



株式会社 エヌ・ティ システムズ

〒104-0041 東京都中央区新富2-1-7 富士中央ビル6F Tel:03-5540-6405 Fax:03-5540-6406

DVD、VIDEO、CD-ROMのレンタル・販売、映像制作
www.ntsi.co.jp